

東京 11 発走 15:45

第23回 ユニコーンステークス(GIII) (3歳・オープン・国際指定)別定

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse details including names, jockeys, and statistics.

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse details including names, jockeys, and statistics.

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse details including names, jockeys, and statistics.

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1) and horse details including names, jockeys, and statistics.

ダ1600 良 1.36秒台 重 1.35秒台

①着馬が次走1000万以内で内をききさった。②着

①着馬が次走1000万以内で内をききさった。②着

本紙の見解 前走価値あるグリム
グリムはタート4戦3勝。3走前は直線不利があり、前走は古馬一千万級の時計での完勝。今回と同舞台の青竜Sは、それまで3連勝のスマハマを破ってのもの。③着馬も次走で一千万を完勝しており、レースレベルは高かった。距離2度目に加え体調もさらに向上し、安定性一歩とみて中心視。好素質ルヴァンスレヴが相手。(運軸有望)



《払戻率について》

中央競馬における勝馬投票法(ト)の払戻率は以下の通りです。
○単勝・複勝：80・0%
○枠連・馬連・ワイド：77・5%
○馬単・3連複：75・0%
○3連単：72・5%
○WIN5：70・0%
JRA日本中央競馬会

競馬人情 吉川良

今週末も私は、先週に続いて、バス13台の北海道牧場ツアーに同行している。

2日目の午後には、社台スタリオンステーションの見学。カシワの木立ちに囲まれた空気のなか、登場する種牡馬を目にして、さまざまに思いめぐらす。25頭の豪華メンバーを、長くなるが、登場順に書かせてもらおう。

イスラポニータ、ロゴタイプ、キタサンブラック、ドレフォン、サトノアラジン、ディーブインパクト、キングカメハメハ、ルーラーシップ、ロードカナロア、オルフェーヴル、エビファネイア、ハーツクライ、ダイワメジ

種木集保の

ゼンノロブロイ(父サンデーサイレンス)は、4歳の04年秋、(天皇賞(秋)↓ジャパンC)有馬記念を3連勝した名馬。

だが、種牡馬としては期待ほどではなく、総合ランキングはずっと10数位。大物は少なく、ダートではジャパンDダービーなど8勝のマグニフィカが目立つくらい。総じて3歳時に完成される産駒が多い。

しかし、ダートではもっと大活躍する産駒を送って不思議な背景がある。母ロミンレイチェル(父マイニング)の全妹の産駒シルクビッグタイムは外国産馬として、08年のユニコーンSを②着している。ゼンノロ

《夏の2歳単勝について》

6月2日(土)〜9月2日(日)の間、JRAの2歳戦(全場・全レース(新馬・未勝利・オープン)の単勝)を対象に、通常の払戻金に売上げの5%相当額を上乗せして払戻いたします。
JRA日本中央競馬会

ヤー、ジャスタウェイ、キズナ、キンシャサノキセキ、ノヴェリスト、エイシンフラッシュ、スビルバーク、フェノーメノ、ディープリランテ、ドリームジャーニー、ミッキーアイル、モリス、ドゥラメンテが、それぞれの風格を漂わせながら歩くのだ。

さすがに主役の風が吹いて、見る人たちの深い沈黙を誘うのは、ディーブインパクトの周囲である。

あなたなら、どの馬をいちばんに、目にやきつけたと思いますか？

ユニコーンSはルヴァンスレ一ヴが強い。グリムへの馬単1点。函館スプリントSはナックビーナスの底力が本命。キングハートへ、ダイアナハイローへの馬単2点。

ブロイは、父母両系ともにアメリカ血統の典型でもある。

ユニコーンSの有力馬グリムは、その母方に欧州色が濃く、ダート巧者を送る牝系ではないように映るが、4代母バープスボールド(父はボールドルーラーの孫)は、大種牡馬リファールの半妹として輸入された。

バープスボールドの孫にあたるシーキングザパールも輸入され、97年のNHKマイルCなど8勝し、その産駒が芝4勝のあとダートに転じ(3927)だったシーキングザダイヤ。同馬のダート戦②着9回は、05年のフェブラリースなどすべてGI格で記録されている。

グリムには、ダート巧者の血が隠れている。母の父は快速サクラバクシンオー。今週のダートはきつと合うはずだ。